

Curves®

The power to amaze yourself.®

——— 明日の自分にきっと驚く

2022年8月期 決算補足説明資料

2022年10月13日

東証プライム市場：7085

株式会社カーブスホールディングス

目次

1. 2022年8月期実績	3
2. 2022年8月期の事業状況と取り組み	19
3. 2023年8月期の業績予想と戦略	34
Appendix	47



2022年8月期実績

連結損益計算書

(単位：百万円)

	2022年8月期（当期） 通期（9-8月）実績	2021年8月期（前期） 通期（9-8月）実績	前同比	2022年8月期（当期） 通期（9-8月）予想	予想比
売上高	27,509	24,681	111.5%	27,300	+209
売上原価	15,517	14,277	108.7%		
（売上原価率）	56.4%	57.8%			
販管費	9,248	8,780	105.3%		
のれん・商標権償却費	1,196	1,083	110.5%		
営業利益	2,742	1,622	169.1%	2,700	+42
（営業利益率）	10.0%	6.6%		9.9%	
経常利益	3,311	1,716	192.9%	3,230	+81
（経常利益率）	12.0%	7.0%		11.8%	
特別損失	176	10	1608.8%		
当期純利益	2,247	1,129	199.0%	2,150	+97
（当期純利益率）	8.2%	4.6%		7.9%	

連結損益計算書トピック（通期）

5

売上高 **275**億円 前期対比 **111.5%**

◆ロイヤルティなど収入 **60**億円 前期対比 **108%**

会員数の増加 **6万会員の純増**

期末**75.4**万会員に

* 予想値**76**万会員には届かず

※店舗数

期末**1,947**店舗

(出店**15**、閉店**26**, 純減**11**)

◆物販売上 **164**億円 前期対比 **112.8%**
(過去最高)

連結損益計算書トピック（通期）

6

営業利益 27.4億円 前期対比 **169%** **11.2**億円増

売上総利益の増加 前期対比 **15.8**億円増

販管費 前期対比 **4.6**億円増

主な増加要因（販管費）

- ① 入会数増に向けた広告宣伝費増 **4.6**億円増
- ② 株式給付信託制度導入による人件費増 **1.9**億円増
- ③ 円安進行に伴い「のれん・商標権」償却費増 **1.1**億円増

※その他販管費減少**3.0**億円により
販管費合計の増加額は差し引き**4.6**億円

連結損益計算書トピック（通期）

7

経常利益 33.1 億円 前期対比 **192%** **15.9** 億円増

主な増加要因

営業利益増

11.2 億円増

営業外収益増

円安進行に伴う為替差益 4.9 億円

(現金増減には影響なし)

連結損益計算書トピック (3Q比)

8

当期3Q比較

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
4Q (6-8月)	70.5億円 (3Q比+0.5億円)	3.1億円 (3Q比△3.9億円)	6.0億円 (3Q比△2.5億円)	4.4億円 (3Q比△1.4億円)
3Q (3-5月)	70.0億円	7.0億円	8.6億円	5.9億円

売上 3Q比+0.5億円(100.8%)

①ロイヤルティ等売上、直営売上増 夏キャンペーンにより会員数増

- ・夏キャンペーンにより3Q比会員数1.7万人純増し、75.4万人に
- ・退会率は引き続き、低水準に抑えられ2.2% (6-8月)

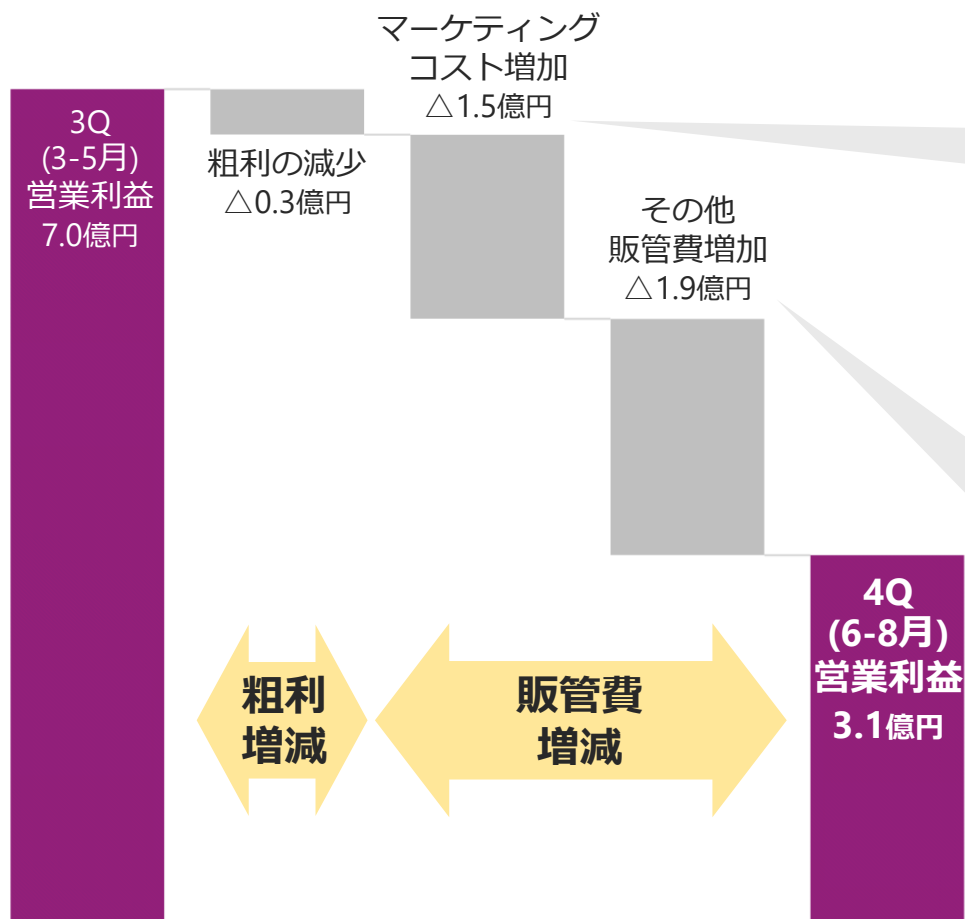
②会員向け物販売上微減 プロテイン定期契約者数は堅調に推移

- ・4Q定期契約解約率が低く抑えられ、定期契約者数が安定推移し売上高も堅調

連結損益計算書トピック (3Q比)

営業利益 3Q比△3.9億円(44.2%)

4Q(6-8月)の3Q(3-5月)からの増減



計画通りTVCM含めた
積極的なマーケティング
を展開

- 上期未使用コスト消化
- 株式給付制度開始に伴う引当金繰入
- 円安進行に伴うのれん・商標権償却費増加 等

連結損益計算書（地域別）

(単位：百万円)	2022年8月期（当期）		2021年8月期（前期）		前同比	2022年8月期（当期）	
	通期（9-8月）実績	構成比	通期（9-8月）実績	構成比		4Q（6-8月）実績	構成比
売上高	27,509	100.0%	24,681	100.0%	111.5%	7,059	100.0%
国内	27,105	98.5%	24,416	98.9%	111.0%	6,970	98.7%
海外	404	1.5%	264	1.1%	153.1%	88	1.3%
営業利益	2,742	10.0%	1,622	6.6%	169.1%	310	4.4%
国内	4,603		3,452		133.3%	854	
海外	△476		△529		-	△166	
調整額	△1,384		△1,300		-	△376	

* 海外事業の売上・営業利益について

海外事業は、海外法人2社（Curves International, Inc. , Curves Europe B.V. ）によるグローバルフランチャイズ事業、欧州FC本部事業で構成されています。

海外事業売上、営業利益には、日本国内事業からのCurves International, Inc.へのロイヤルティ支払い、フィットネス機器購入などの売上、海外子会社2社からの日本法人への指導料などのコストは含まれておりません。

* 営業利益の調整額項目について

特定の地域に帰属しない費用項目で、のれん・商標権償却費などです。

スポット：FC新規出店や契約更新などによって得られる一時的な収入

- ・FC新規出店に伴う加盟金やフィットネス機器販売などの収入
- ・契約更新に伴うフィットネス機器販売などの収入

ベース：店舗数、会員数などに連動して得られる継続的な収入

国内

ロイヤルティ等

FC店舗会費売上などに対するロイヤルティや
会員管理事務手数料などの収入

フランチャイズ関連

その他FC店舗から得られる収入

会員向け物販

会員向けの商品販売による収入、当社グループが会員へ
直販し販売手数料をFC店に支払

直営事業

直営店経営による収入

その他

その他

海外

売上高内訳

	2022年8月期（当期）		2021年8月期（前期）		前同比	2022年8月期（当期）	
	通期（9-8月）実績	構成比	通期（9-8月）実績	構成比		4Q（6-8月）実績	構成比
売上高	27,509	100.0%	24,681	100.0%	111.5%	7,059	100.0%
国内	27,105	98.5%	24,416	98.9%	111.0%	6,970	98.7%
スポット	509	1.9%	529	2.1%	96.1%	154	2.2%
ベース	26,596	96.7%	23,886	96.8%	111.3%	6,816	96.5%
ロイヤルティ等	6,022	21.9%	5,566	22.6%	108.2%	1,530	21.7%
FC関連	1,646	6.0%	1,601	6.5%	102.8%	439	6.2%
会員向け物販*	16,408	59.6%	14,543	58.9%	112.8%	4,198	59.5%
直営事業	2,418	8.8%	2,080	8.4%	116.2%	621	8.8%
その他	99	0.4%	95	0.4%	104.7%	26	0.4%
海外	404	1.5%	264	1.1%	153.1%	88	1.3%

* 会員向け物販売上には、FC加盟企業に販売した商品の売上高が含まれております。

連結損益計算書四半期推移

(単位：百万円)	2020/08	2021/08				2022/08				20/2Q対比
	2Q (12-2月) (コロナ前)	1Q (9-11月)	2Q (12-2月)	3Q (3-5月)	4Q (6-8月)	1Q (9-11月)	2Q (12-2月)	3Q (3-5月)	4Q (6-8月)	
売上高	7,096	5,719	6,172	6,278	6,510	6,460	6,982	7,006	7,059	99.5%
国内	6,979	5,679	6,096	6,214	6,426	6,388	6,858	6,886	6,970	99.9%
スポット	186	141	128	112	146	132	102	119	154	83.2%
ベース	6,793	5,537	5,968	6,102	6,279	6,256	6,756	6,767	6,816	100.3%
ロイヤルティ等	1,611	1,346	1,359	1,420	1,440	1,524	1,456	1,511	1,530	95.0%
FC関連	453	485	358	406	350	444	365	396	439	97.0%
会員向け物販*1	3,892	3,193	3,716	3,728	3,905	3,683	4,308	4,217	4,198	107.8%
直営事業	567	488	511	522	558	580	602	614	621	109.5%
その他	28	23	23	24	23	23	23	26	26	93.5%
広告分担金*2	239	-	-	-	-	-	-	-	-	-
海外	117	40	75	64	84	71	123	119	88	76.0%
売上総利益	3,071	2,507	2,455	2,703	2,736	2,829	3,075	3,062	3,023	98.4%
営業利益	1,384	△10	882	443	307	493	1,235	702	310	22.5%
国内	1,868	478	1,281	920	772	946	1,676	1,126	854	45.7%
海外	△142	△167	△86	△136	△139	△125	△104	△78	△166	-
調整額*3	△341	△322	△312	△341	△325	△327	△335	△344	△376	-
経常利益	1,453	△103	772	751	295	536	1,314	860	600	41.3%
当期純利益	956	△143	490	477	304	315	891	591	448	46.9%
期末実質会員数 (万人)	83.2	68.9	64.1	68.1	69.3	74.8	71.8	73.7	75.4	△7.8
店舗数 (店)	2,014	2,000	1,988	1,974	1,958	1,953	1,951	1,948	1,947	△67
チェーン売上高(百万円)	18,037	13,938	14,555	14,746	15,359	15,417	16,253	16,299	16,463	91.3%

*1 会員向け物販売上には、FC加盟企業に販売した商品の売上高が含まれております。

*2 広告分担金収入は2021年8月期より売上に計上しておりません。使用したマーケティングコストのうち、FC加盟企業から拠出される広告分担金を超過した金額を販管費に計上してあります。

*3 営業利益の調整額項目は、特定の地域に帰属しない費用項目で、のれん・商標権償却費などです。

連結貸借対照表

(単位：百万円)	2022年 8月期末	2021年 8月期末	前期末差
流動資産	13,739	14,961	△ 1,221
現預金 *	8,212	9,760	△ 1,547
受取手形・売掛金	4,156	3,857	298
商品	933	1,092	△ 159
固定資産	24,612	21,323	3,289
有形固定資産	424	505	△ 80
無形固定資産	23,401	20,128	3,273
のれん	1,559	1,346	213
商標権	20,258	17,431	2,827
ソフトウェア	1,204	815	389
投資その他の資産	786	689	96
資産合計	38,352	36,284	2,067
流動負債	9,307	8,929	378
短期借入金（1年内長期借入金含む）	3,290	3,090	200
固定負債	16,688	18,191	△ 1,503
長期借入金	11,956	14,330	△ 2,373
負債合計	25,996	27,121	△ 1,125
有利子負債	15,246	17,420	△ 2,173
純資産合計	12,355	9,163	3,192
株主資本	8,868	8,665	202
負債・純資産合計	38,352	36,284	2,067

為替変動(円安進行)による 米国法人Curves International, Inc.の 無形固定資産(のれん、商標権など)への影響について

当連結会計年度決算における影響

BS

無形固定資産(のれん・商標権) **30.4億円増**(期末残高218.0億円)

純資産(為替換算調整勘定) **30.1億円増**(期末残高 34.8億円)

PL

のれん・商標権償却費 **1.1億円増**(通期11.9億円)

為替変動(円安進行)による米国法人の 無形固定資産(のれん、商標権など)への影響について

Curves International, Inc.買収時 (2018年4月)

のれん・商標権	ドル建て	円換算(1ドル 106.24円)
	202百万ドル	215億円

のれん・商標権償却(期間20年) 定額償却 年間**10百万ドル**

前期 (21年8月期)

のれん・商標権	ドル建て	円換算(1ドル 110.58円)
残高	169.6百万ドル	187億円

のれん・商標権償却	ドル建て	円換算(1ドル 106.63円)
	10百万ドル	10.7億円

当期 (22年8月期)

のれん・商標権	ドル建て	円換算(1ドル136.68円 前期対比26.1円円安)
残高	159.5百万ドル	218億円(前期対比30.4億円増加)

のれん・商標権償却	ドル建て	円換算(1ドル117.81円 前期対比11.18円円安)
	10百万ドル	11.9億円(前期比 1.1億円増加)

連結キャッシュ・フロー計算書

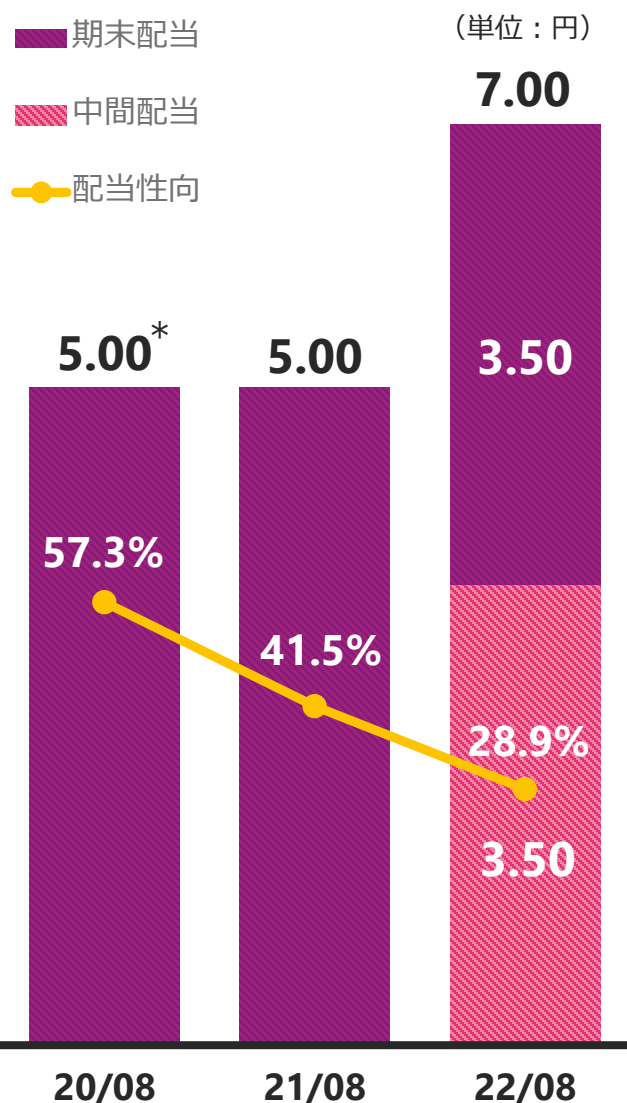
(単位：百万円)

	2022年8月期（当期） 通期（9-8月）実績	2021年8月期（前期） 通期（9-8月）実績	前同差
営業活動によるCF	3,273	3,240	32
税金等調整前当期純利益	3,134	1,705	1,428
のれん・商標権・減価償却費	1,994	1,747	247
売上債権の増減額	△188	△602	413
たな卸資産の増減額	172	421	△248
仕入債務の増減額	39	126	△86
未払金の増減額	△171	△191	19
法人税等の支払額又は還付額	△1,338	△172	△1,165
その他 ^{*1}	△369	206	△576
投資活動によるCF	△943	△733	△210
有形固定資産の取得による支出	△218	△249	31
無形固定資産の取得による支出	△717	△407	△309
その他	△8	△75	67
財務活動によるCF	△4,218	△2,309	△1,909
借入による収入	1,000	-	1,000
借入金の返済による支出	△3,173	△1,840	△1,333
自己株式の取得による支出 ^{*2}	△1,247	-	△1,247
配当金の支払額	△797	△469	△328
現金及び現金同等物に係る換算差額	73	28	44
現金及び現金同等物の増減額	△1,816	226	△2,042
現金及び現金同等物の期首残高	9,760	9,533	226
現金及び現金同等物の期末残高	7,943	9,760	△1,816

* 1：株式給付信託(J-ESOP及びBBT)導入に伴う信託預金2.6億円の抛出、株式給付引当金繰入2.2億円を含む

* 2：株式給付信託(J-ESOP及びBBT)導入に伴う自己株式の取得

2022年8月期 株主還元



* 普通配当：3.00円
記念配当：2.00円

22/08
年間配当 **7.00円**

配当については、将来の事業展開と財務体質の健全化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結配当性向50%を目標として実施していくことを基本方針としております。

クオカード
株主優待 **500円**

2022年8月31日現在の株主名簿に記録された100株（1単元）以上保有の株主様対象

■■■ 2022年8月期の事業状況と取り組み

2022年末

『事業回復』と

『新しい経営環境下でのビジネスモデル確立』

2022年8月期 重点戦略

①事業基盤を守り、 育てる

- ・顧客満足度の一層の向上
- ・FC加盟企業の収益力回復

②会員数の回復

- ・マーケティングの強化など

③新たなビジネス モデル確立

- ・リアルとオンラインを
融合したビジネスモデル

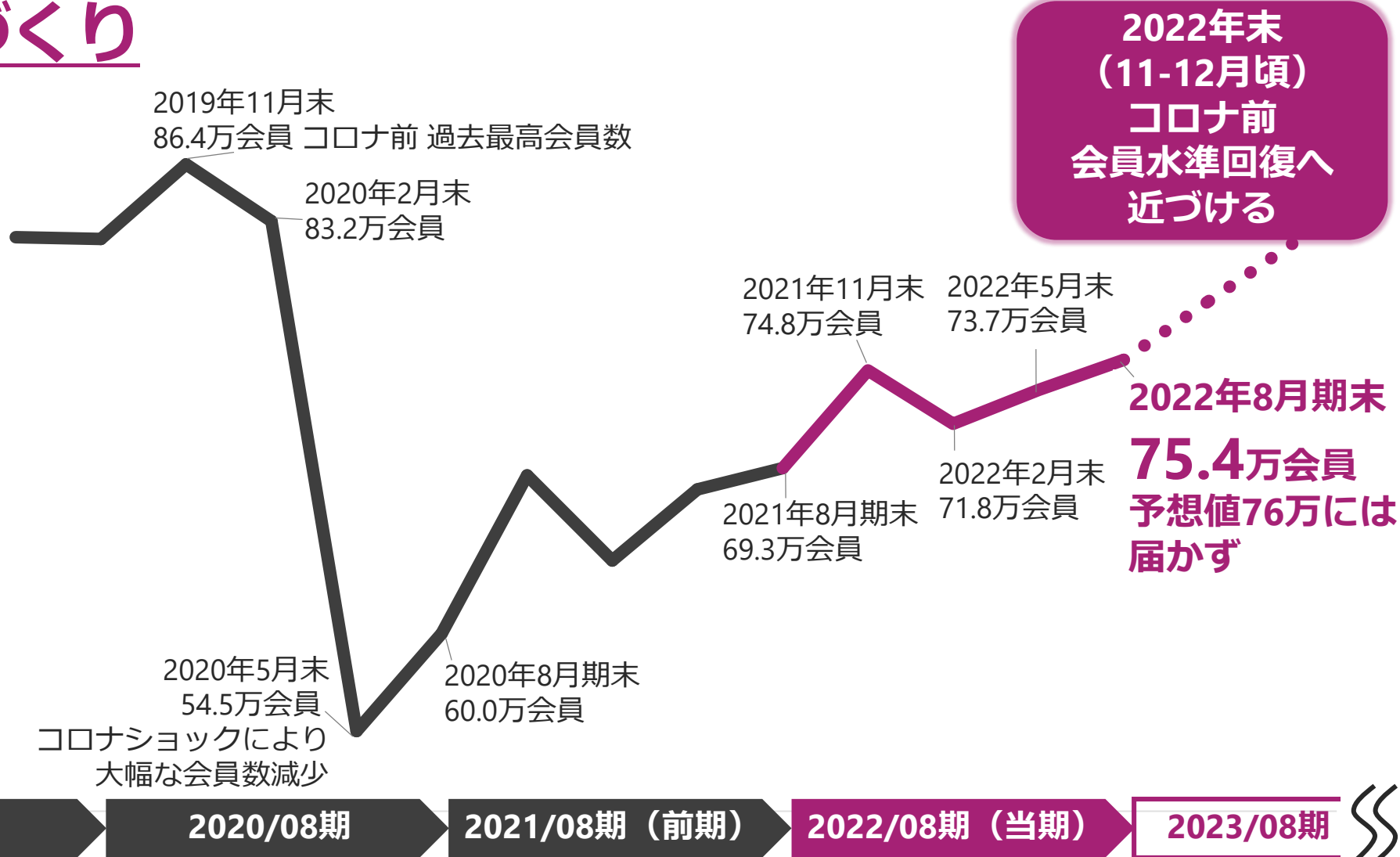


新業態のビジネスモデル構築

- ・メンズ・カーブスなど新業態の多店舗化に向けたビジネスモデル構築

会員数回復のロードマップ

22年末までに事業回復と新しいビジネスモデルづくり



店舗数

(単位：店舗)

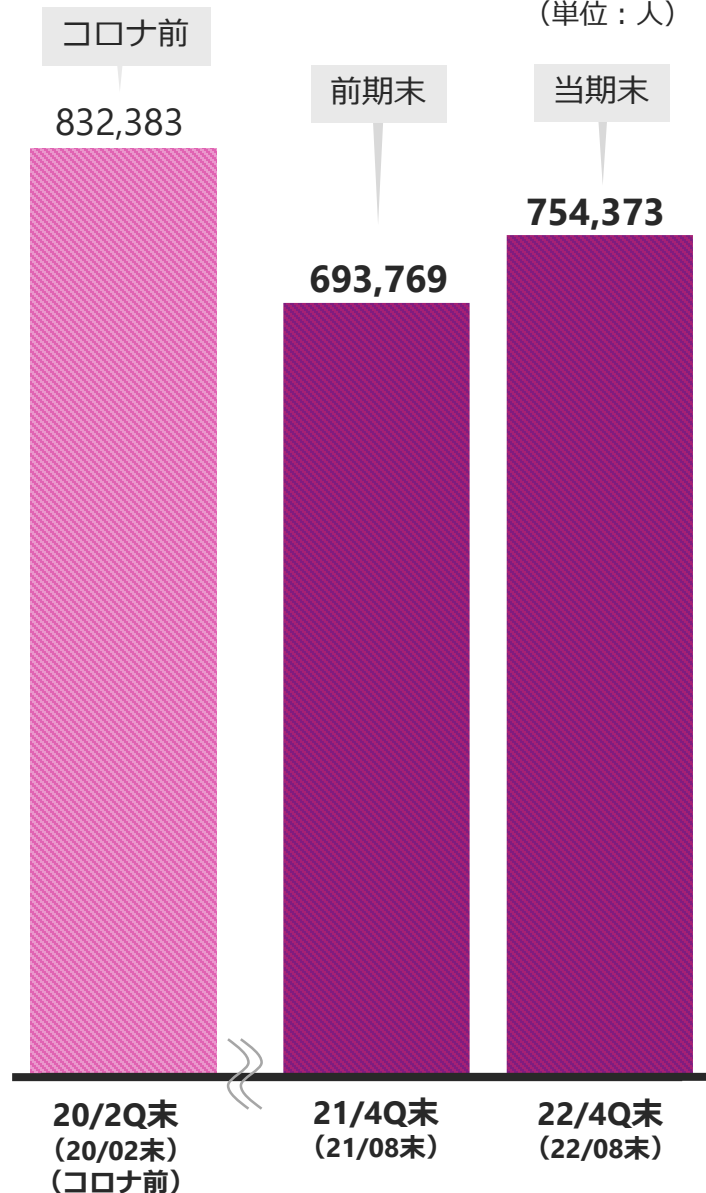


国内 **1,947** 店舗

	4Q(6-8月)	通期(9-8月)
出店数	6 店舗	15 店舗
閉店数	7 店舗	26 店舗
純増数	△ 1 店舗	△ 11 店舗

・閉店店舗の会員の約7割は
近隣店舗へ移籍し運動を
継続

(単位：人)



会員数 **75.4**万人

オンラインフィットネス
内、おうちでカーブス会員数 **2.1** 万人

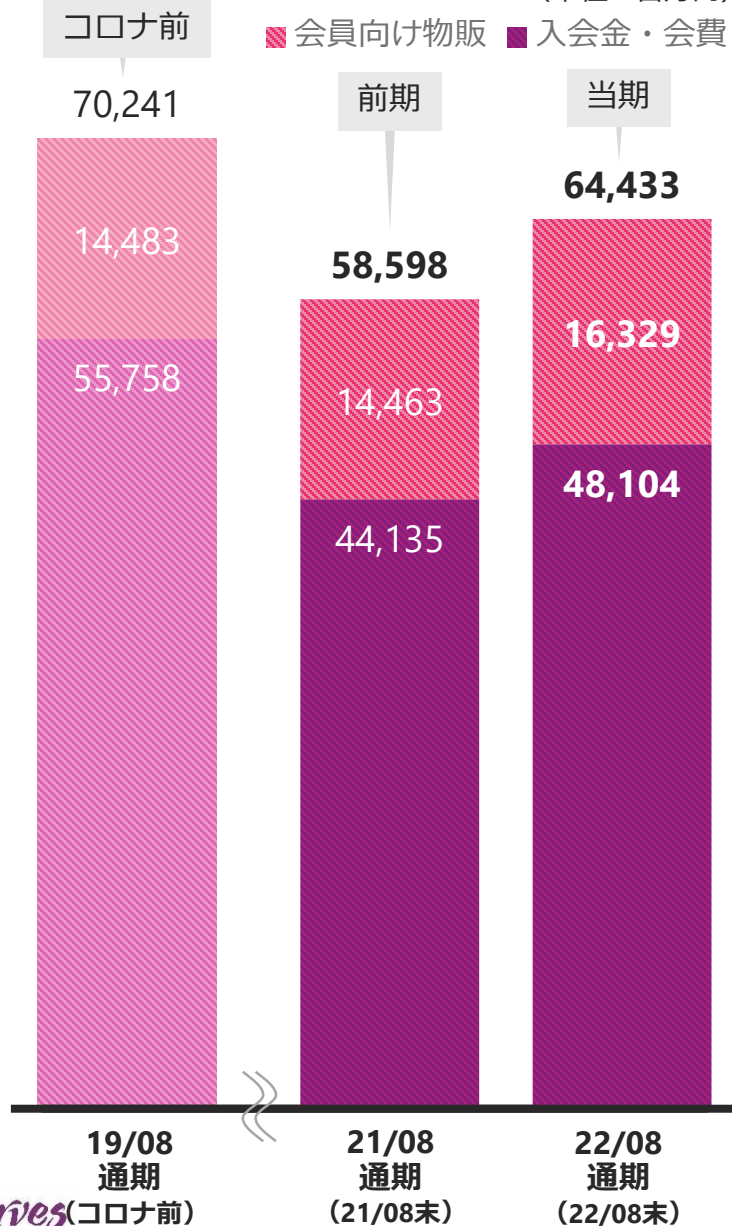
前期末
21/8月期末対比 **+ 6.0** 万人

コロナ前
20/2Q末対比 **△ 7.8** 万人

- ・夏の新規入会キャンペーンにより会員数純増
- ・退会率は低水準を維持 (6-8月退会率 2.2%)

チェーン売上高

(単位：百万円)



22/08 通期
実績 **644.3** 億円

前期通期
21/08 対比 **110.0%**

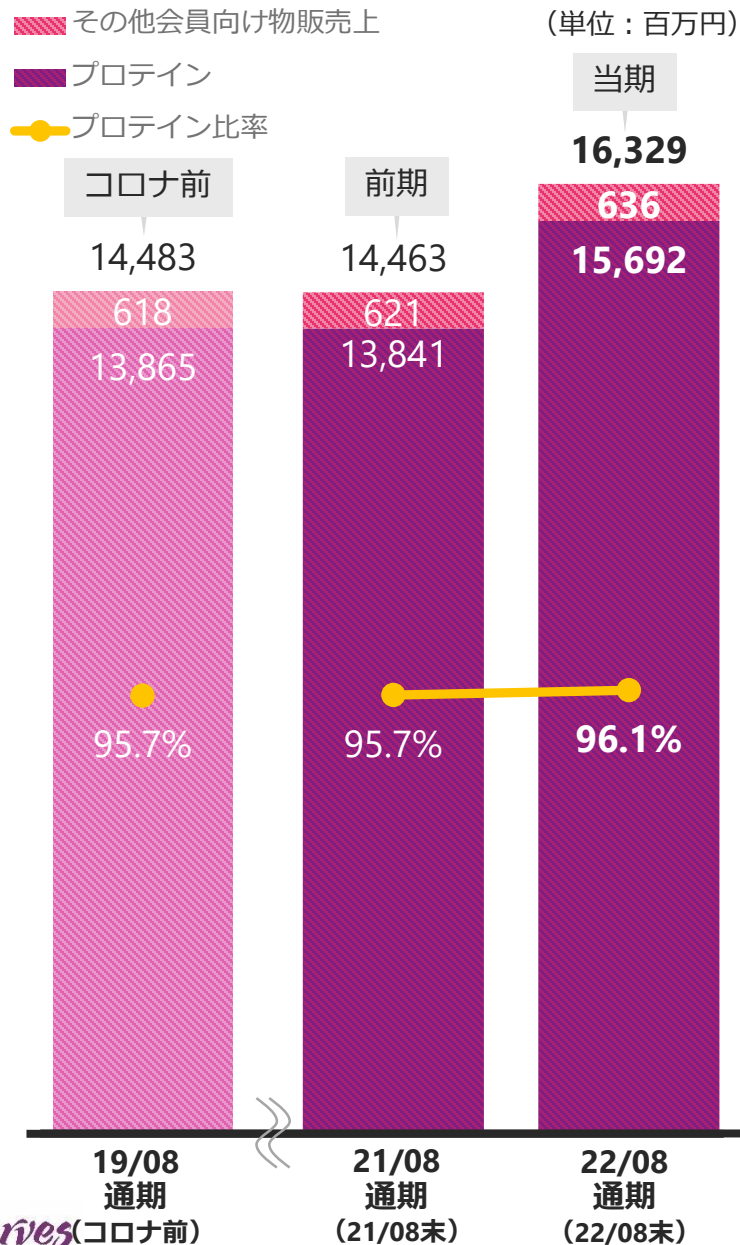
コロナ前
19/08 対比 **91.7%**

当期
22/08 4Q実績 **164.6** 億円

内、会員向け物販 **41.8** 億円

入会金・会費 **122.8** 億円

会員向け物販売上高



過去最高
22/08 通期
実績 **163.2** 億円

前期通期
21/08 対比 **112.9%**

コロナ前
19/08 対比 **112.7%**

当期
22/08 4Q実績 **41.8** 億円

内、プロテイン
プロテイン比率 **40.1** 億円
96.1%

1. **顧客満足度**一層の向上
2. **マーケティング**強化
3. **食の相談・提案**強化
4. **自治体連携**
5. **健康二次被害防止**の継続的啓発
6. **メンズ・カーブス**
7. **海外事業**

2022年8月期トピック1. 顧客満足度一層の向上²⁷

22/9
リリース

2022年度 日本版
顧客満足度指数(JCSI)調査

フィットネスクラブ業種で初
8年連続* 第1位



全6部門で最高評価

推奨意向 友人にすすめたい	ロイヤルティ これからも続けたい	知覚価値 コストパフォーマンス
顧客満足 総合的な満足度	知覚品質 サービスの質の高さ	顧客期待 期待値の高さ

*フィットネスクラブを含む計5業種についてはコロナ禍の影響を考慮し2020年度は調査未実施

22年8月期(21年9月~22年8月)平均月次退会率 **2.2%**

22年8月期通期退会率☞ コロナ前の水準以下を維持

年3回 新規入会キャンペーン実施

1Q

2Q

3Q

4Q

全国TVCM集中投下、WEBを中心とした
メディアミックスマーケティング展開
👉ヤング層向けマーケティングを強化

2021年8月末(前期末)

69.3万人

2022年8月末(当期末)

75.4万人
+6.0万人

ヤング層 (50-64歳) 👉入会数増加
シニア層 (65歳以上)
👉社会活動停滞の影響を受け低調

2022年8月期トピック3. 食の相談・提案強化

プロテイン定期契約者数増加

2021年12月 & 2022年5月

「食生活の相談」強化月間を展開

通常プロテイン+1,000円

プロテイン高機能新商品による客単価向上

高機能新商品

スーパープロテイン・プレミアム+



プレミアム+シリーズ
第4弾の新商品として

プロテイン+
生きて腸まで届く乳酸菌
をリリース

初の
機能性
表示食品

プレミアム+
既存ラインナップ



2022年8月期
販売数に占める
プレミアム+
販売数割合

35%超

2022年8月期トピック4. 自治体連携

2022年1月

大阪スマートシニアライフ実証事業推進 協議会参画

2022年5月

福岡県大牟田市と 健康づくりの推進に係る包括連携協定を締結

これまでの主な行政連携先

神奈川県	大山町(鳥取県)
三島市(静岡県)	八幡市(京都府)
札幌市(北海道)	苫小牧市(北海道)
見附市(新潟県)	東松山市(埼玉県)
横浜市(神奈川県)	等



累計2,848万枚配布

啓発リーフレット多数発行

2022年6月 健康二次被害防止コンソーシアム

第2回 特別セミナー開催

啓発活動をしている組織・個人(2022年9月末現在)

自治体

115

企業団体

258社

個人 (有識者など)

352名

健康二次被害防止コンソーシアムとは：
 コロナショックによる過剰な外出自粛がもたらす健康被害を防ぐための啓発活動を行う組織
 医師・学者などの有識者、市町村、民間企業の有志により構成。
 当社は発起人であり、事務局を運営

健康二次被害防止コンソーシアム公式サイト <https://kenko-nijihigai.com/>

要介護・一人暮らし高齢者の健康二次被害を防ぎましょう

一般社団法人全国介護事業推進理事長 齊藤 正行

● 要介護者の生活拠点は大きく2つに分かれます

生活拠点によって、介護保険で受けられる介護サービスも異なります。

施設	自宅
<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム(特養) 介護老人保健施設(老健) 有料老人ホーム サービス付き高齢者向け住宅(サ高住) 認知症高齢者グループホーム など 	<ul style="list-style-type: none"> 通所介護(デイサービス) 通所リハビリテーション(デイケア) 短期入所(ショートステイ) 訪問介護(ホームヘルパー) ・訪問看護 など 小規模多機能型居宅介護 など

産後ママのこころの健康を守りましょう

筑波大学 人文社会系准教授 松島 みどり
 つくばウエルネスリサーチ取締役 保健師 塚尾 節子

● 産後、楽しく過ごせていますか？

産後、気分が落ち込んでしまう…じつはこれは珍しいことではありません。

たとえば…

- 元気がなくなる
- 食欲が落ちる
- 眠れない
- 自分を責める気持ちが強くなる

育児を頑張るにすぎませんか？

(厚労省 e-ヘルスネット)

筋肉の中に悪い脂肪がたまる「ある行動」にご注意を！

福天医科大学 国際健康学部 グローバルヘルスサービス領域 教授 医師・医学博士 田村 好史

⚠ 日常の何気ない行動で、筋肉の中に悪い脂肪がたまってしまふということが最新の研究で明らかになりました。

● 筋肉の中に悪い脂肪がたまると…

血糖値が上がりやすくなる → 動脈硬化が進行 → 心筋梗塞・脳卒中のリスクに…

筋肉が減る → 体力低下・関節の痛みなど → 要介護や寝たきりに…

● どんな行動で筋肉の中に脂肪がたまるの？

① 運動不足
 1~2週間の運動不足で筋肉の中の脂肪が10~20%、多い人だと30%増える可能性が

② 横になって過ごす

③ 脂っぽい食事

友人・知人にされています。 (al.2020, Tsuno et al.2022)

2022年8月期 5店舗オープン 12店舗に

- ①前期末店舗数 : 7店舗
- ②22年8月期出店数 : 5店舗
- ③22年8月期末店舗数 : 12店舗

2022年3月

- ④東北大学キャンパス内に
戦略出店

女性カーブスとともに
東北大加齢医学研究所と共同研究

- ⑤既存店退会率は順調に低減、
集客ノウハウを磨きあげる

●メンズ・カーブス店舗

*Mens
Curves*

The power to amaze yourself.®



2022年8月期トピック7. 海外事業

重点地域の状況

欧州(スペイン・イタリア・英国を中心に8カ国)

2022年6月末現在**151**店舗が営業中

* 当社グループがフランチャイズ本部を経営する直轄エリアのみ。

* 海外は決算期のずれにより2カ月遅れでの連結取込み

ウィズコロナ・アフターコロナの環境にあわせた
新しいビジネスモデル、成長戦略構築中





2023年8月期の業績予想と戦略

2023年8月期 業績予想

	23/08 通期(9-8月)	22/08 通期(参考)		
	予想	実績	前期比	増減
売上高	300.0億円	275.0億円	+24.9億円	109.1%
営業利益	37.0億円	27.4億円	+9.5億円	134.9%
経常利益	37.1億円	33.1億円	+3.9億円	112.0%
当期純利益	24.2億円	22.4億円	+1.7億円	107.8%
期末会員数	82.4万人	75.4万人	+7.0万人	109.3%
期末店舗数	1,952店舗	1,947店舗	+5店舗	100.3%

2023年8月期 業績予想

売上高
300.0億円

会員数増により増加 過去最高を予想

営業利益
37.0億円
経常利益
37.1億円

売上総利益増 724百万円

販管費 △233百万円

広告宣伝費減少

FC加盟店からの広告分担金供出増およびマーケ効率改善

人件費・販管費増

株式給付制度導入、営業活動正常化、新事業開発など

のれん・商標権など償却費増

円安進行に伴う円換算償却費の増加

期末会員数
82.4万人

さらなる顧客満足度向上による退会率低減
年3回のキャンペーンによる新規入会者数増加

期末店舗数
1,952店舗

出店25店舗 閉店統合20店舗を計画

コロナショックからの回復戦略の総括と今後 37

会員数

コロナ前(20年2月)

83.2万会員

20年5月

54.5万会員

22年8月

75.4万会員

	コロナショック	コロナ下の戦略総括	今後の戦略
シニア層 (65歳以上)	影響大 (休退会増・ 新規入会低迷)	<ul style="list-style-type: none">• 休退会の復帰は一定レベルで成功• 既存会員の定着は成功• 新規入会は回復傾向であるものの未だ低い水準	<ul style="list-style-type: none">• 社会状況の緩和に合わせ新規入会強化 (口コミ紹介 マーケティング)• 市町村など 行政との連携
ヤング層 (50~64歳)	比較的影響は 少ない	<ul style="list-style-type: none">• マーケティング強化などにより 新規入会増• 新規入会者の定着にも成功• シニア層の入会減を ヤングマーケットで一定レベルで はカバー	<ul style="list-style-type: none">• 成長マーケット として一層の注力• LTV向上のため 口コミ紹介マーケ、 商品戦略の展開

会員向け物販

年間売上 コロナ前(19年8月期)
144億円

当期(22年8月期)
163億円

- ・ 会員サポート強化(運動指導、習慣化指導、食事相談)によって購入者数増
- ・ 高機能新商品投下によって客単価上昇

オンラインフィットネス

20年4月
開発プロ
ジェクト
始動

20年9月
既存会員
向け
リリース

21年4月
新規募集
スタート

会員数当期末**2.1万会員**
(おうちでカーブスWプラン会員含む)

総括と今後の戦略

- ①現在のオンライン単独型フィットネスサービス市場は魅力的な市場ではない
- ②店舗+オンラインのハイブリッド型サービスには大きな可能性がある(おうちでカーブスWプラン)

👉オンラインフィットネスサービスは

ハイブリッド型(おうちでカーブスWプラン)に**注力**



9,10月 新規入会キャンペーン実施

1か月無料体験

全国TVCM集中投下、WEBを中心としたメディアミックスマーケティング

- ・9,10月に各10日間ほどTVCMを集中投下
- ・8~9月にかけて全国の情報番組に多数露出
- ・TVCM、WEB、地域販促等のメディアミックスマーケティング
→強みであるクチコミ紹介の後押しに



9月放映 TVCMのイメージ

2022年9月の状況

2022年8月末

75.4万人

2022年9月末

77.0万人

+1.6万人純増

コロナ前

20/2Q末対比 回復率 **92.6%**

オンラインフィットネス戦略

41

店舗&オンラインフィットネス「おうちでカーブス」が両方使える

Wプランご提案強化

顧客満足度向上  客単価向上へ



&



Curves



おうちで

Curves

カーブスアプリ
22年9月リリース

10万会員
が利用中
(無料)

運動の習慣化に
役立つと好評



価格改定および従業員待遇向上

43

プロテイン⇒22年9月～, +185円(税別)

* 原材料ホエイなど原価アップへの対応

月会費⇒23年6月～, +500円(税別)

* 諸物価高騰への対応および賃金アップへの対応

月会費価格改定による粗利益向上 (FC加盟店)



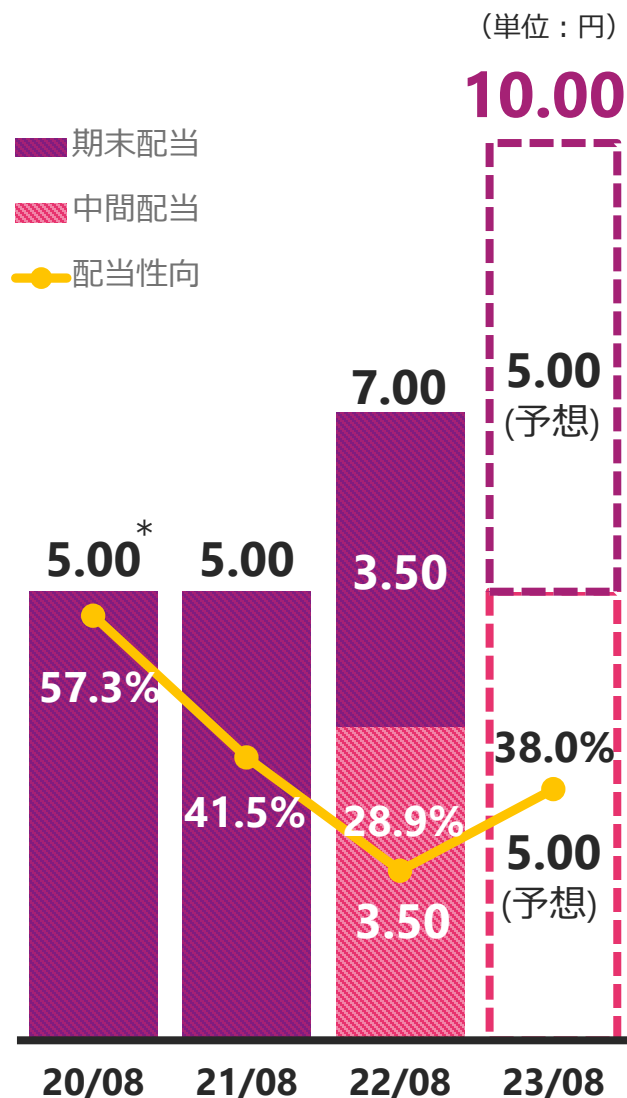
賃金アップ・働きやすさなど従業員待遇向上



さらなる

採用競争力向上・人材強化・組織力強化へ

2023年8月期 配当予想



* 普通配当：3.00円
記念配当：2.00円

23/08
年間配当予想 **10.00円**

配当については、将来の事業展開と財務体質の健全化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結配当性向50%を目標として実施していくことを基本方針としております。

1株当たり当期純利益 **26.32円**
連結配当性向 **38.0%**

サステナビリティ経営について

当社グループは創業から掲げる経営理念、

事業目的

病気と介護の不安と孤独のない
生きるエネルギーが溢れる社会をつくる

私達の使命

私達は、正しい運動習慣を広めることを通じて、
お客様と私達自身の豊かな人生と、
社会の問題の解決を実現します。

にもとづき、地域密着の健康インフラとして社会課題の解決に貢献することを第一義として経営をして参りました。また、

1. **環境にやさしいビジネスモデルと店舗運営**
2. **お客様にとっての「安心・安全 NO.1」を目指した運営**
3. **女性が輝く職場NO.1を目指した各種取り組み**
4. **フランチャイズ経営による地域経済への貢献、
地域の健康課題への支援**

などを経営戦略に組み込み展開をして参りました。

サステナビリティ経営について

今後、一層の社会貢献とサステナビリティを重視した経営を実践していくために、また、当社グループの取り組みを体系化、可視化しステークホルダーの皆様に透明性をもって共有させていただけるように準備を進めております。具体的スケジュールは以下の通りです。

22年11月末まで

- ① **サステナビリティ経営基本方針、重要課題(マテリアリティ)設定、対応方針、評価方法などを取締役会決議** *現在、社内プロジェクトにて内容を討議中
- ② **サステナビリティ経営推進委員会設立、運営スタート**

22年12月～23年1月

上記内容をホームページにて開示、以後活動状況などを更新

24年2月

ESGレポート発行

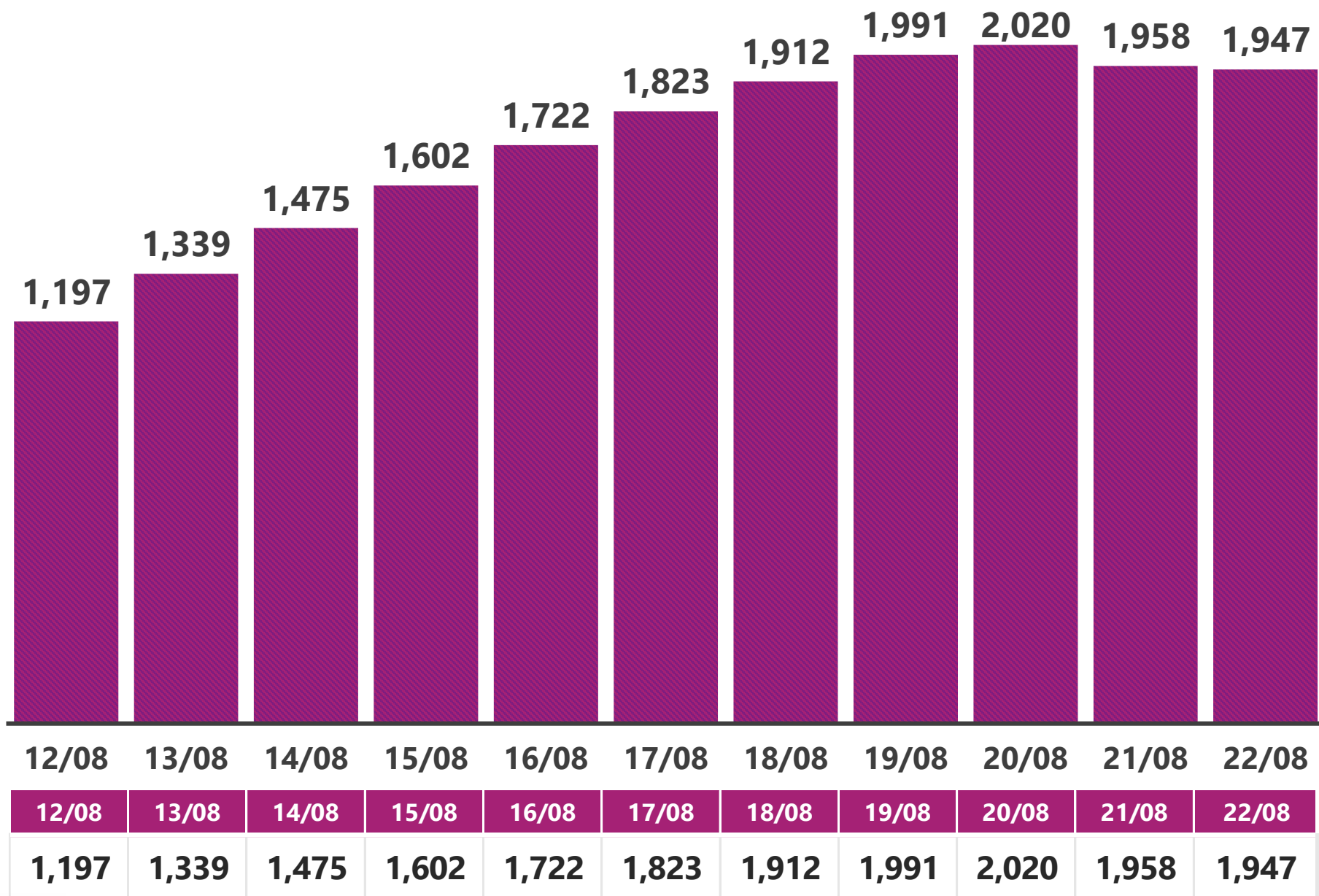


Appendix

■ カーブス事業の推移

店舗数の推移

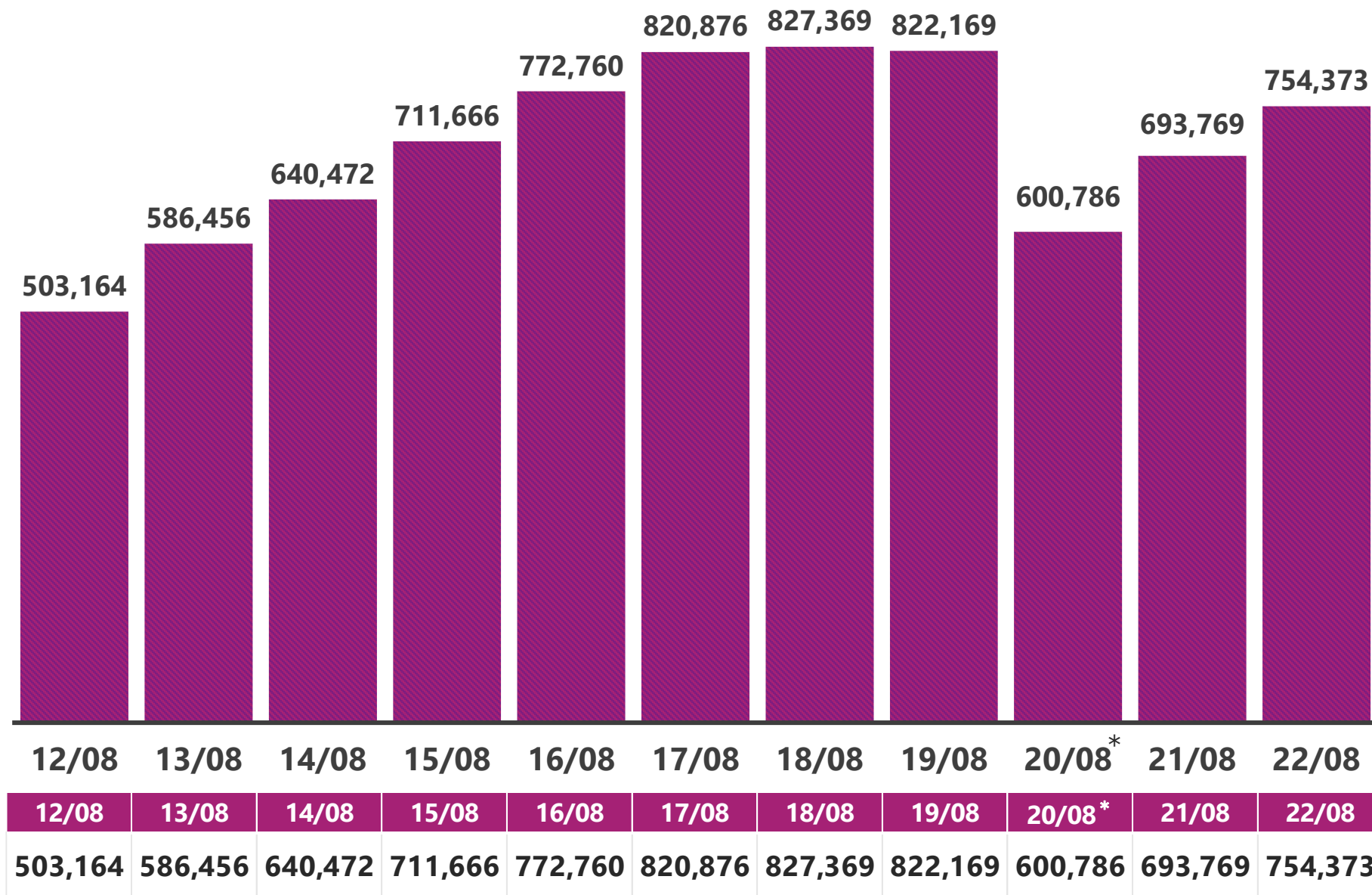
(単位：店舗)



会員数の推移

50

(単位：人)

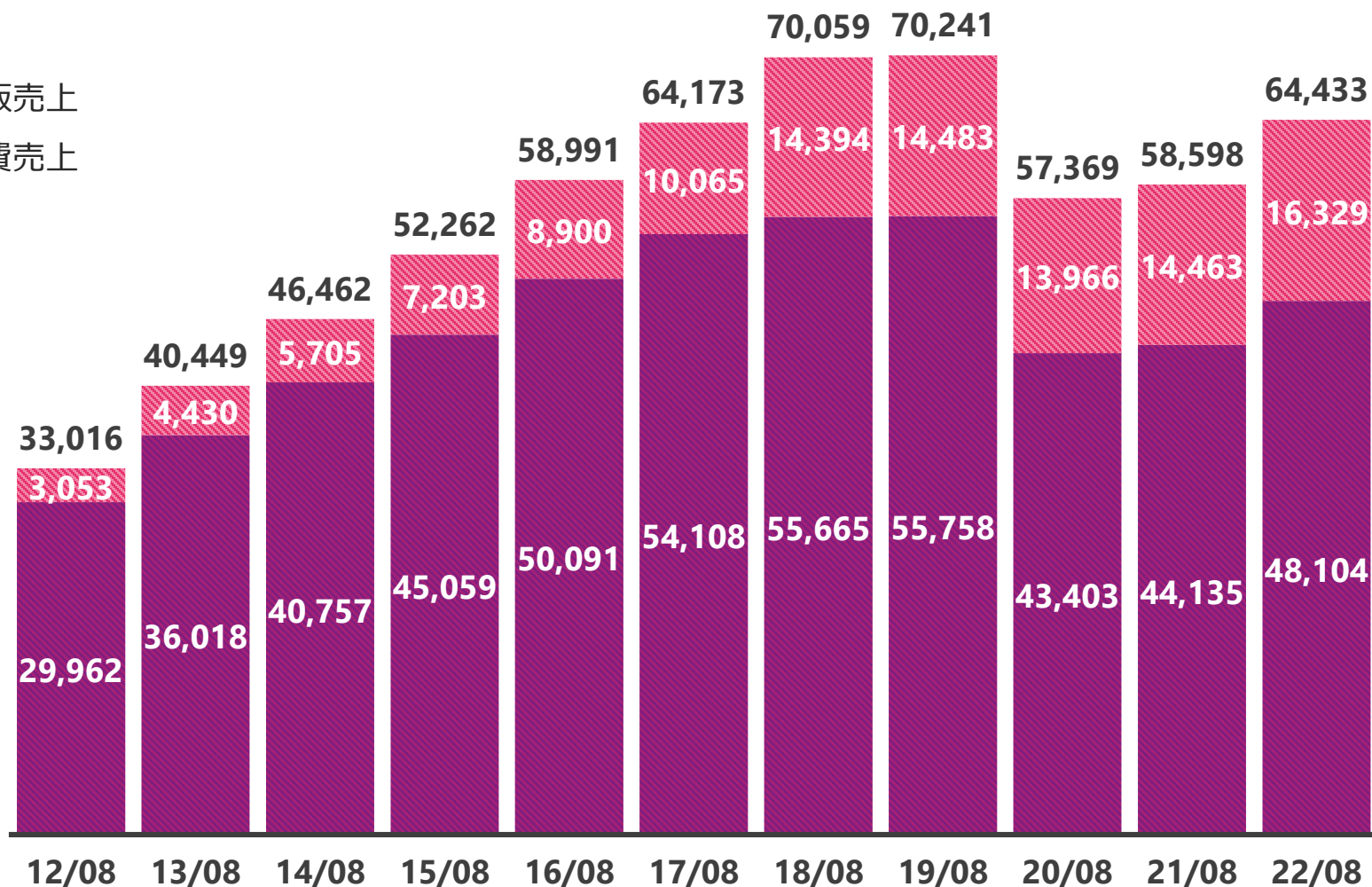


* 20/08期は特別休会会員を除く実質会員数です。

チェーン売上高推移

(単位：百万円)

■ 会員向け物販売上
■ 入会金・会費売上



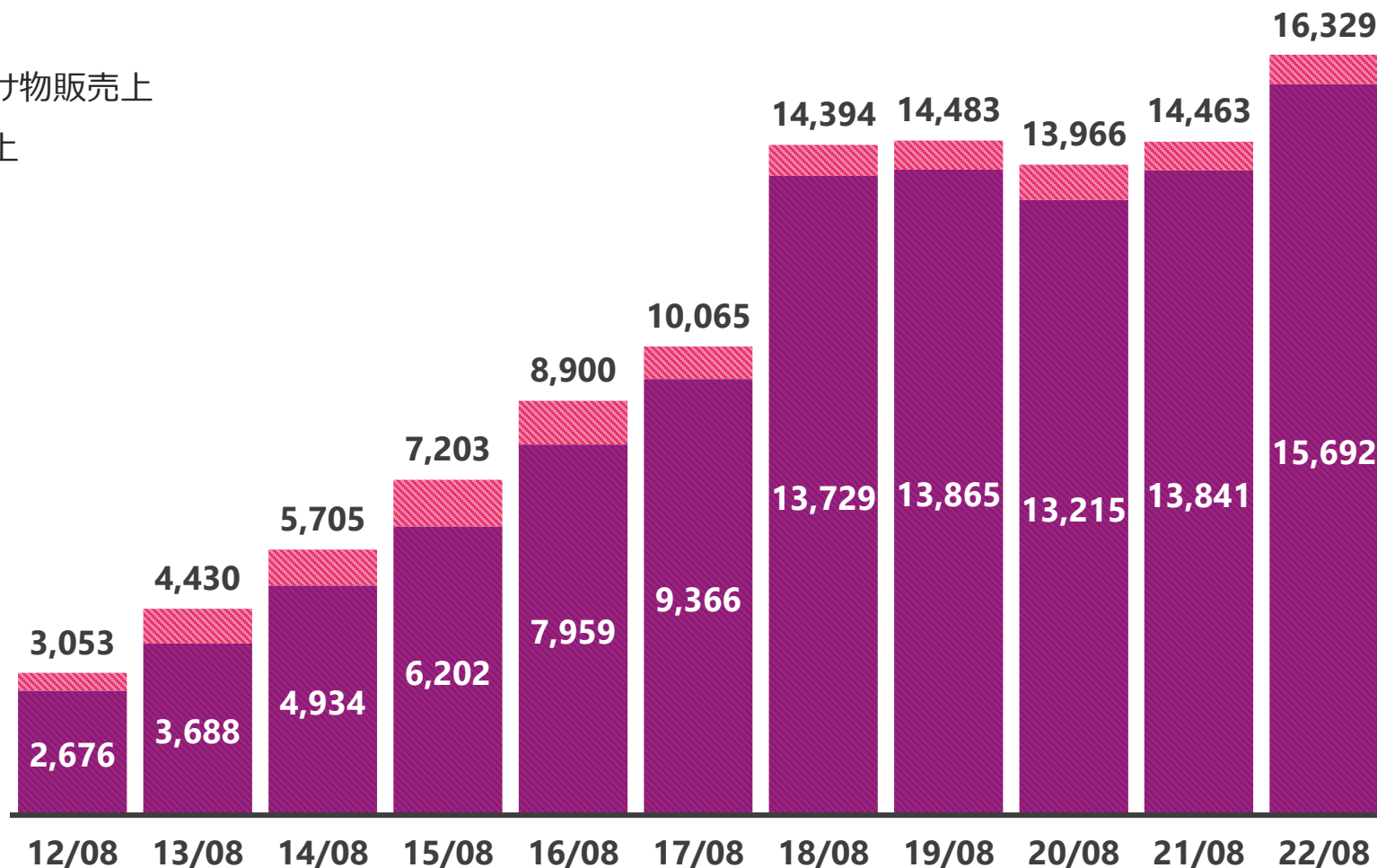
	12/08	13/08	14/08	15/08	16/08	17/08	18/08	19/08	20/08	21/08	22/08
チェーン売上高	33,016	40,449	46,462	52,262	58,991	64,173	70,059	70,241	57,369	58,598	64,433
会員向け物販売上	3,053	4,430	5,705	7,203	8,900	10,065	14,394	14,483	13,966	14,463	16,329
入会金・会費売上	29,962	36,018	40,757	45,059	50,091	54,108	55,665	55,758	43,403	44,135	48,104

会員向け物販売上高推移

52

(単位：百万円)

- その他会員向け物販売上
- プロテイン売上



	12/08	13/08	14/08	15/08	16/08	17/08	18/08	19/08	20/08	21/08	22/08
会員向け物販売上	3,053	4,430	5,705	7,203	8,900	10,065	14,394	14,483	13,966	14,463	16,329
内) プロテイン売上高	2,676	3,688	4,934	6,202	7,959	9,366	13,729	13,865	13,215	13,841	15,692
プロテイン比率	87.6%	83.3%	86.5%	86.1%	89.4%	93.1%	95.4%	95.7%	94.6%	95.7%	96.1%
プロテイン前年比	194.4%	137.8%	133.8%	125.7%	128.3%	117.7%	146.6%	101.0%	95.3%	104.7%	113.4%

■ カーブスグループの概要

私達の使命

私達は、正しい運動習慣を広めることを通じて、お客様と私達自身の豊かな人生と、社会の問題の解決を実現します。



私達が目指すもの

病気と介護の不安と孤独のない
生きるエネルギーが溢れる社会をつくる



動画「10年後のカーブス」

<https://youtu.be/XKuPtwwnNIE>

株式給付信託(J-ESOP及びBBT)制度導入

導入に伴う当社株式取得

拠出額 15億円 ⇒ 自己株式 12.4億円 現金&預金 2.6億円(信託預金)

引当金計上

株式給付引当金 ⇒ 2.2億円

導入目的

従業員向け株式給付制度(J-ESOP)

当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため

役員向け株式給付制度(BBT:Board Benefit Trust)

当社取締役、執行役員並びに当社子会社の取締役、執行役員(以下、対象役員)の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、対象役員が株価上昇によるメリットのみならず、株価下落リスクまでも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めるため

株式会社カーブスホールディングス
(グループ持株会社)

株式会社カーブスジャパン

日本フランチャイズ本部事業

株式会社ハイ・スタンダード

グループ直営店事業

Curves International, Inc.

グローバルフランチャイザー事業

Curves Europe B.V.

欧州フランチャイズ本部事業

事業概要

- 「女性だけの30分健康体操教室 カーブス」を展開
- 国内店舗数1,947店舗（直営75店舗、FC 1,872店舗）
（2022年08月末時点）

基礎データ

- 所在地：東京都港区芝浦3-9-1芝浦ルネサイトタワー11F
- 設立⁽¹⁾：2005年2月
- 売上高⁽²⁾：275億円
- 資本金⁽²⁾：8億円

注：
1.カーブスジャパンの設立日。カーブスホールディングスは2008年10月設立
2.2022年8月期

沿革

- 2005年02月** ベンチャー・リンクによりカーブスジャパン設立（世界総本部とマスターライセンス契約）
- 2006年03月** フランチャイズによる全国展開スタート
- 2006年06月** 100店舗を突破
- 2008年10月** コシダカホールディングスの連結子会社となる
- 2011年06月** 1,000店舗を突破
- 2015年06月** 神奈川県認証施設「未病センター」第一号である「未病センターカーブス小田原」を開設
- 2018年03月** Curves International, Inc.（世界総本部）を買収
- 2018年11月** メンズ・カーブス（茅野店）を開設
- 2019年07月** CFW International Management B.V.（現・Curves Europe B.V. 欧州FC本部）を買収
- 2019年10月** 2,000店舗を突破
- 2020年03月** 株式分配型スピンオフにより東京証券取引所市場第1部に株式を上場
- 2022年04月** 東京証券取引所「プライム市場」へ移行

お問い合わせ

▶ IRについてのお問い合わせ

カーブスホールディングス

TEL : 03-6453-8752

e-Mail : curves-ir@curves.co.jp

URL : <https://www.curvesholdings.co.jp/>

証券コード : 7085

本資料は、2022年8月期の決算数値をもとに、企業情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2022年10月13日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。

本決算に記載されている当社および当社グループ以外の企業や業界等にかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。